

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月25日			
平成15年度	事業コード	11320	電話	042-756-8410
担当部課名	保健福祉部	陽光園		療育相談室
事務事業名	療育相談室			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	安心して生活できる福祉社会を作ります	事業開始年度
基本施策名	第3節	障害者の自立支援と社会参加	63以前年度
施策名	第2施策	療育体制の整備と保育・教育の充実	

2 実施根拠及び関連法令等

障害児通園（デイサービス）事業実施要綱 相模原市立療育センター条例、同施行規則
--

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

その他の経費

5 事務事業の分類

県費補助事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1) 事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか		(2) 対象(誰、何)	
<ul style="list-style-type: none"> 市内に在住する人の発達上の心配や障害についての相談に応じる。 個別療育や小集団の活動を行い、障害の軽減や発達の促進を図る。 個々の障害に応じた運動・言語等の機能訓練を行う。 利用者の地域での生活の自立に向けた支援を行う。 		利用者（概ね18歳まで）とその保護者、家族	
		対象数	利用者 715人
(3) 平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容			
1. 療育相談機能 初回相談（面接による情報収集及び発達検査に基づく評価・判定） 医療相談（小児科・小児神経科・整形外科・精神科） 評価会議（個別プログラムの策定） 個別支援・児童デイサービス（保育グループ・心理グループ）・経過相談 機能訓練（理学療法・作業療法・言語療法） 地域生活支援（巡回訪問・家庭訪問・地域別グループ支援・研修等企画） 2. 職員研修 療育相談指導員等によるスーパービジョン 総事業費 2,891千円 ・報酬 1,815千円 ・報償費 744千円 ・需用費 292千円 ・備品購入費 40千円			
(4) 個別計画の概要		概要	
計画名			
計画年次	年度～	年度	

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
成果指標								
活動指標								

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費	決算(予算)額	3,294	3,047	2,891	2,739	2,739
	人員・時間数	12人	12人	12人	12人+非常勤	12人+非常勤
	人件費	100,680	100,680	100,680	101,676	101,676
	その他経費					20,000
	合計	103,974	103,727	103,571	104,415	124,415
特定財源		2,842	2,637	2,147	104	104
対象数		749	767	715	750	790
対象の単位あたり経費		138.8	135.2	144.9	139.2	157.5

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A : 達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B : 一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C : 達成していない		・事業目標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	指標・目標を設定することには、馴染みにくい事業である。
(2)必要性 評価 A ▼	A : 適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B : 一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C : 適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 社会環境の変化に伴い、多様な集団適応の障害や情緒不安・育児不安の相談が増加しており、他の関係機関と連携しながらきめ細かい個別的な対応が一層必要とされている。
(3)有効性 評価 ▼	A : 有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B : 一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C : 有効ではない		
		説明	発達に関する相談から障害児の療育訓練まで、幅広く利用者の状況に即応する支援を実施しており、当該事業は有効性は高い。
(4)効率性 評価 A ▼	A : 優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B : 一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C : 改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 専門的かつ個別的な障害児の相談・療育事業を実施するための経費としては、必要最小限のスタッフ(専門職)と指導員の謝礼、消耗品費、備品購入費等の事務経費だけで運用しており、効率性は高いといえる。
(5)公平性 評価 A ▼	A : 公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B : 一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C : 公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	不公平・不均衡という観点における評価は馴染まない。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	説明： 利用者の複雑化するニーズに合わせ、相談や療育の更なる充実を図るため支援方法の工夫をするともに、地域に出向いて利用者の生活場面に即した具体的支援を進めていくことで、成果向上の余地がある。	手段	平成15年度予算計上に当たり、報償費対象事業の大幅な見直しを行い、約30万円の削減を図った。これ以上の削減は困難である。
		削減額	0 千円

11 総合評価

評価	A ▼	他自治体の類似事業との比較 自治体ごとに事業内容や体制等に差があり、単純に比較検討することは困難である。
	今後の進め方	
<input type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明 相模原市唯一の障害児の療育相談の専門機関として、必要な専門スタッフによる、利用者の障害の状況に応じた個別的支援を実施している。今後は、相談内容の多様化・複雑化に対してより効果的に対応できるよう検討していくとともに、利用者の利便性を図るために一部機能を南地区にも配置するなど、利用者の立場に立った事業展開を図りながら、当該事業を継続していく必要があるが、陽光園全体について、陽光園の運営のあり方検討会の中で検討を進めていく。
<input checked="" type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

「陽光園のあり方検討会」での検討結果を踏まえて見直しを進めること
